ぜんせき THE ZENSEKI

第7856号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

8月27日（月曜日）　2018年（平成30年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp

昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

災害時にSSの力最大限発揮へ

全石連・部会長インタビュー

災害対策・官公需部会　宇佐美三郎氏

東日本大震災の経験から石油製品の平時における官公需契約の重要さを訴えてきた全石連は2016年6月に官公需部会を新たに設置、この2年間、全国の石油組合の官公需受注拡大をサポートしてきた。今年度からは官公需に密接に関連する災害対策・官公需部会」が設置され、災害時の〝最後の砦〟としてSSの機能を最大限に発揮するための対策に取り組む。新部会をけん引する宇佐美三郎副会長にその課題を聞いた。

Q　新たな部会の位置付けは。

今年2月の福井での豪雪災害と、7月の西日本豪雨災害など、我が国では様々な自然災害が発生している。

こうした災害時に特に必要とされるのが水、食料そして燃料である。豪雪では除雪車や拠点病院への燃料供給が求められたし、豪雨災害では停電した地域で住民拠点SSの緊急用発電機が使用された。そうした中で全石連で初めて災害対策を担当する部会ができたことは時宜を得たものであり、「SSの力を最大限に発揮」するための部会であると位置付けている。

Q　具体的にどのような取り組みを。

詳細は今後、部会の皆さんと考えていくが、災害時にきちんとお客様に燃料が供給できるよう実施訓練や稼働訓練などの体制を整えなければならない。

中核SSや小口燃料配送拠点、全国8千ヵ所に整備される予定の住民拠点SSなど、いつ、どこで起きるとも限らない災害に迅速・円滑に対応することは、地域SSに対する国民の信頼を獲得することにもつながる。

Q　官公需の進め方については。

この2年間、官公需部会長として尽力された三原氏が新部会の副部会長であるので大変心強い。官公需の受注実績は徐々に上がっているが、国や自治体レベルでの理解はまだ足りない。

災害時にだけ組合や地元SSに燃料供給を依頼するのではなく、平時から官公需調達という形で付き合っていかなければ、円滑な災害対応ができないということを繰り返しアピールしたい。そういう意味でも、災害対策と官公需を合わせた部会の意義は大きい。

《災害対策・官公需部会メンバー・敬称略、◎正、○副》
◎宇佐美三郎（愛知）、○三原英人（愛媛）、常本照也（北海道）、宮澤啓祐（岩手）、戸原秀之（神奈川）、吉原愼吾（石川）、森下正紀（和歌山）、伊藤隆庸（島根）、中平重利（宮崎）

月岡石連会長に満タン協力要請

運動定着へ精販の連携強化

全石連

精販で『満タン運動』の定着化に取り組む（㊧から加藤専務、浜田副会長、森会長、月岡会長、奥田専務、吉村常務）

全石連の森洋会長と浜田忠博副会長・満タン&灯油プラス1缶運動推進委員長、加藤文彦副会長・専務理事が23日、石油連盟の月岡隆会長を訪ね、9月1日から2年目のスタートを切る『満タン運動』について、昨年度に引き続き協力・協賛を要請した。森・月岡両会長は、『満タン運動』を災害に備えた〝国民運動〟として定着させていくため、精販の連携強化を確認した。（4面に関連記事）

石連からは月岡会長、奥田真弥専務理事、吉村宇一郎常務理事が出席。月岡会長に対し森会長は「昨年9月にスタートした『満タン運動』だが、今年度も引き続き石油連盟のご協力・ご協賛をお願いしたい」と述べた。

続いて浜田委員長が昨年度の『満タン運動』を振り返りつつ、今年度の運動展開について説明。「油価が上がっていることもあって、定量・定額という方もいたり、満タンにすると燃費が悪くなるとおっしゃる方もおられるが、『満タン運動』への消費者のご理解は深まってきている」と指摘したうえで、「今年度もノボリ・ポスター、チラシに加えて、SSスタッフにもさらに運動への理解を深めてもらうため、ロゴバッチを配布することにした」と、対内外広報の強化に取り組む方針を示した。

また「我々からの広報だと、消費者には商売のために『満タン運動』に取り組むのではと誤解されるため、国主導での運動展開も要請している」などと述べた。

月岡会長は、「運動のご趣旨については全く異論はない。いまのご説明で良い運動になってきていることを感じた。消費者もこれだけ自然災害が発生している中で、なにが起きるかわからないという意識はお持ちで、運動の趣旨がおかしいという方はおられないと思う」などと述べ、災害に備え『満タン運動』への理解をさらに広めていくことが必要との認識を示した。

原油コスト0.9円上昇

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比1バレル0・9円高となり、3週ぶりに反発した。米国エネルギー情報局の週報で原油在庫が予想以上に減少したうえ、11月に始まるとされる米国によるイラン制裁の動向が注視され強含みとなった。直近24日の東商取プラッツ・ドバイ原油は1バレル建てで前日比0・54ドル高の73・70ドル、円建ては0・7円高の51・7円。

国内ガソリン陸上スポットは強含みの傾向。中京タンク筋も25日からガソリンのみ0・4円上げとした。今週の元売仕切りも値上げに転じる見通しとなっている。24日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比横ばいの120・7円。

◇　◇

特約店筋によると、コスモ石油は24日から週決め仕切りを前週比で全油種0・5円値下げした。

ガソリン内需7月は1%減

JXTGエネルギーが先ごろ明らかにした7月の想定内需は、前年比でガソリンが1%減の464万キロリットルとなり、12ヵ月連続の前年割れ。灯油も3%減の43万キロリットル、A重油は4%減の72万キロリットルに落ち込んだ模様。一方、軽油は3%増の301万キロリットルに増加した。

7月SS倒産件数は4件に

帝国データバンクがまとめた7月のSS倒産件数は4件、負債総額は3億3200万円となった。1～7月累計では23件、42億5300万円で推移しており、前年同期に比べて14件増、負債総額も約5倍に膨らんでいる。

高速SS旧盆期G5.7%減販

高速道路3社が22日までに集計した旧盆期間（8～19日）の管内SS販売量（速報値）は、3社合計の前年同曜日対比でハイオクが9・8%減の5181キロリットル、レギュラーが4・8%減の2万6135キロリットル、ガソリン計で5・7%減の3万1317キロリットル、軽油が21・7%増の2万7519キロリットル、合計5・4%増の5万8837キロリットルとなった。ハイオク比率は16・5%（前年は17・3%）。NEXCO東日本が3・5%減の1万1409キロリットル（ハイオク比率17・6%）、中日本が4・6%減の9524キロリットル（17・5%）、西日本が8・9%減の1万3841キロリットル（14・5%）。

高速道路3社管内SSの旧盆期間販売量（キロリットル）

	ハイオク	レギュラー	ガソリン計	軽油	合計
東日本	2,011	9,398	11,409	6,310	17,720
（前年比）	93.2%	97.2%	96.5%	123.7%	103.1%
中日本	1,662	7,862	9,524	10,926	20,450
（前年比）	90.0%	96.6%	95.4%	116.8%	105.7%
西日本	1,508	8,875	10,384	10,283	20,667
（前年比）	86.6%	91.9%	91.1%	126.2%	105.7%
3社合計	5,181	26,135	31,317	27,519	58,837
（前年比）	90.2%	95.2%	94.3%	121.7%	105.4%

消防庁

タブレット等の安全対策整理
SS店頭使用を許可

総務省消防庁は20日、ハンディタイプのクレジットカード決済端末や汎用タブレット型端末をSS内で使用する際の安全対策などをまとめた。一般に流通している携帯型電子機器から4機種を選定し、可燃性蒸気の中で作動させた場合に引火するかどうかや、地面に落とした場合に火花が発生するかどうかを実験し安全性を確認。肩かけひも付きカバーなどを使って端末の落下を防止するなどの安全対策を講じることで、SS店頭での使用を認めることとした。

実験では、市販のタブレット端末とモバイル決済端末の各2機種を選定。可燃性混合気中で各端末の作動を20回繰り返したが、引火しないことを確認。また、床上2㍍の高さから各端末を20回落下させ、火花が発生しないことも確認し、店頭で使用しても安全上支障ないと結論付けた。

実験結果を受けて消防庁は、携帯型電子機器をSS店頭で使用する場合の留意事項3点をまとめた。具体的には、①防爆構造または国際電気標準会議規格（IEC）もしくは日本工業規格（JIS）に適合するもの②肩かけひも付きカバーなど落下防止措置を講じることや、危険物の取扱作業中の者が同時に携帯型電子機器の操作を行わない、火災や危険物の流出事故が発生した場合は直ちに使用を中止③予防規程の認可申請の際に、使用する携帯型電子機器の仕様書などを申請書に添付することなどを挙げた。

近年、タブレット型端末の急速な普及によって、他業界などでは営業・販促ツールとして活用する動きが広がっており、多様な事業・サービスを顧客に提供する次世代SSの構築に向けて、SS店頭でこうしたタブレット型端末を使って、タイヤ・バッテリーなど油外商品の販売や車検・整備作業での顧客への告知・説明などに活用する動きが広がっていきそうだ。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、SSでもハンディタイプのクレジットカード決済端末導入などが検討されており、顧客の目の前でカード決済処理を行うことができるクレジットカード取引のセキュリティー環境が整っていくことが期待されている。

論説

エネ基が示す石油の重要性

政府はこのほど、2030年までの中長期的なエネルギー政策の方向性を示す第5次の『エネルギー基本計画』を4年ぶりに改定し、閣議決定した。30年の電源構成（エネルギーミックス）は「道半ば」として第4次計画と同じ数値目標を掲げ、再生可能エネルギーや原子力、化石燃料など各エネルギー源ごとの施策を深掘りしていく。

また、温室効果ガスの抜本的な削減に向け、50年を見据えた方向性も示した。エネルギー転換・脱炭素化を加速化。再生エネの主力電源化を目指すとともに、原子力も脱炭素化の選択肢として残しつつ、化石燃料は過渡期の主力として、資源外交の強化やガス利用へのシフトを目指すとした。

石油は「可搬性が高く、全国供給網も整い、備蓄も豊富なことから、他の喪失電源を代替するなどの役割を果たすことができ、今後とも活用していく重要なエネルギー源」との位置付けは変えることなく、災害時におけるエネルギー供給の〝最後の砦〟となるため、供給網の一層の強靭化を提言。資源確保の強化や石油製品の安定供給確保体制の維持・強化、石油産業基盤の再構築などを盛り込んだ。

日本は言うまでもなく、無資源国であり、四方を海に囲まれているため、欧州などと違い、近隣諸国とのエネルギー融通も困難である。1つのエネルギー源でそのすべてを満たすことは難しいのが現状だ。それだけに、今後とも活用していく重要なエネルギー需給を考えるうえで、「3つのE（エネルギーの安定供給、経済効率性の向上、環境への適合）＋S（安全性）」を満たすことが求められる。国内の需給を見極めつつ、エネルギーの効率的な利用、省エネにも取り組み、様々なエネルギー源を組み合わせて、「3E+S」を実現しなければならない。

この「3E+S」の実現に不可欠なのが石油だ。石油は30年でも、1次エネルギー構成で約3割と最大シェアを維持する。その後50年に向けてそのシェアが減っても、日本のエネルギー需給を支えるのは当面石油だ。

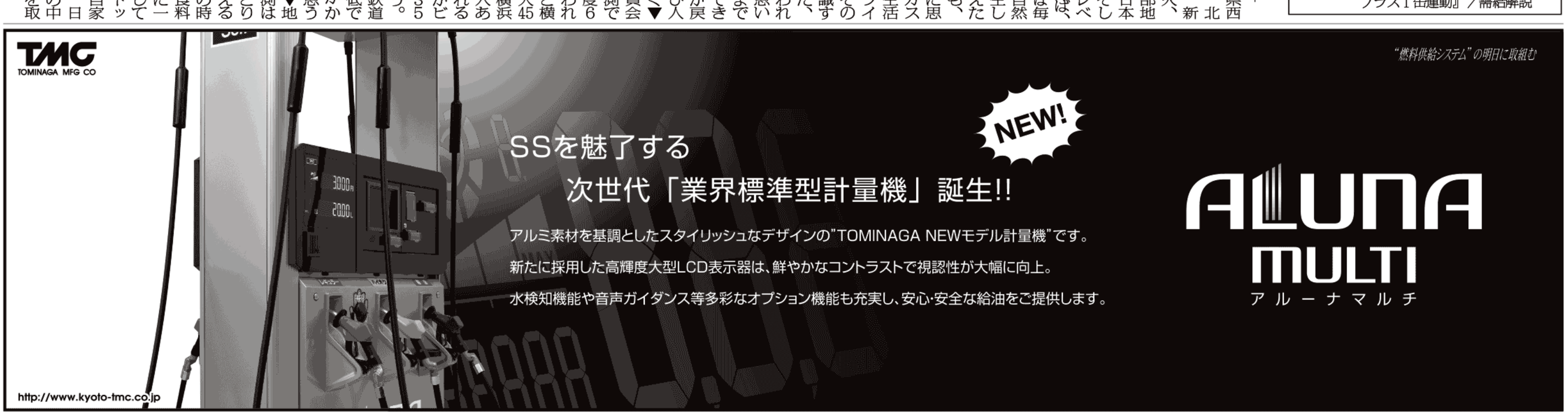
今後この計画を実行に移していくうえで、注意しなければならないのは、「脱炭素化」「再生エネの主力電源化」という言葉によって、資源国に「日本はもう石油はいらない」というような誤解や認識を与えてはならない。そして、「あって当たり前」と思われている石油の重要性を我々は絶えず訴えていかなければならない。

きょうの紙面

2面　難航？中間3品大口交渉
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　関東版・17年度末10県SS数/愛知版・太田油政連支部長に聞く
4面　2年目に突入！『満タン&灯油プラス1缶運動』／需給解説

ポンプあいらんど

▼島根県西部地震、北陸豪雪、新燃岳噴火、大阪北部地震、西日本豪雨、そして災害レベルの猛暑。振り返れば、年が明けてからほぼ毎月のように大きな自然災害がどこかで発生している。災害が増えたと言われる昨今でも、今年は際立つように思う▼電気、水道、ガスそして石油。日常生活を支えるこうしたライフラインは、普段その存在をことさら意識することはない。ただ、ひとたび機能が損われるとその重要性を思い知らされる。これまで幾度も繰り返されてきたことだが、日常が戻れば「教訓」は再び人々の意識から遠のく▼政府の地震調査委員会が先ごろ示した予測では、30年以内に震度6弱以上の揺れに襲われる確率は、千葉市と横浜市が80%超。最大45万人が見込まれる横浜市の帰宅困難者1人あたりに割り当てられる食糧と水は、わずかビスケット5枚と水350ミリリットルのみだという。被害にもよるが、鉄道や道路の復旧に最低でも1週間程度はかかる。これで十分と思う人はいないだろう▼地震も含め災害の予測は不可能だ。一人ひとりができることで備えるしかない。万が一の時に口にできる水や食料の携行、家庭で常に一定量の食料を備蓄しておくローリングストックの実施、そして自家用車の「満タン」。日常の消費サイクルの中にいかに「防災」を取り込むかが大切だ。



株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312　東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180　関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606　高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118　事業所・代理店／全国主要39都市

難航？中間3品大口交渉

卸業者、後半期を懸念

今年度後半期に向け懸念されているのが大口ユーザーへの中間3品の価格交渉だ。現在、産業燃料用、フリート向けなど大口ユーザーと契約する卸業者にとって、供給不安は避けられないとの見方が出ている。先行きへの不透明感が高まる背景には、米国の対イラン制裁の本格化があり、卸業者は「値決めしても再交渉や納入できない可能性がある」と先行きへの危機感は隠せない。

対イラン制裁で不透明感

今年度に入り安定傾向が高まったと言われる中間3品市場。ガソリン同様、極端に安い業転玉が姿を消し、「需給は安定傾向」とみられてきた。軽油はかつての〝1物3価〟と言われた極端な価格差が解消する傾向がみられ、供給面では余剰感が改善しているというのが卸業者の見方だ。

重油も大口需要家との交渉ではコスト増に一定の理解のある値決めができていると手応えを感じる業者が多く、需給バランスが安定してきたとみられている。

灯油も在庫の積み増しを含め、安定感が増していく市場にあるというのが商社の見方で、中間3品の大口需要家向けの価格は、安定基調で今年度後半期を迎えられると判断する業者が多かった。

だが、米国のイラン制裁発動とその後の原油国際情勢が、極めて流動的になったことで状況が一変した。商社系販売会社は「このままでは一定期間の納入契約に支障が出る。11月に制裁が発動されると不都合な事態となる」と警戒感をあらわにする。

滋賀県に進出計画が浮上している豊田自工会会長（右から4人目）がイベントに急ぎょ駆けつけ、2輪車市場の普及拡大に意欲を示した

【大津】滋賀県に進出計画が浮上しているPB業者には、依然として更地の状態だ（写真）。

大津市のカーディーラーの店舗跡地でSS建設計画が浮上したが、20日時点でも更地で、工事の告示看板も立っていない。

県内の特約店社長は「正直、わからないが、このまま計画が白紙になってほしい」と話している。

PB進出計画〝白紙〟願う声も　滋賀

【長野】長野石商・協（渡邉一正理事長）は21日、長野市内で開いた理事会でSS過疎地問題や発券店値付けカード問題などについて協議した。渡邉理事長は「カード手数料問題については木曽地区の組合員から悲痛な声が上がってきたが、長野県全組合員の思いということで全連に解決を要望し、現在、執行部で取り組んでいただいている。期待したい」と述べた。

SS過疎問題に対しても「災害対応などの社会的使命を果たすためにもSSサプライチェーンの維持に取り組まなければならない」と強調した。

同会合に来賓出席した全石連の加藤文彦副会長・専務理事は、最近の全石連活動について説明。特にカード手数料問題については森会長をはじめ経営部会などが元売各社に強く要請している状況について報告した。また異業種などによる廉売問題への取り組みや来年度に向けた石油流通関係の予算要望、税制改正要望について説明した。

同じく来資出席した資源エネルギー庁石油流通課の成瀬輝男課長補佐がSS過疎地対策について全国の状況を報告するとともに、今年度に取り組むSS過疎地対策検討支援事業について説明。特に、今年度採択した8事業の中で長野県売木村の「道の駅へのミニSS設立計画」や同天龍村の「SS過疎地計画策定事業」の具体的な取り組みなどを報告した。一方、各委員会報告では、10月20日からスタートする灯油まつりの参加申し込み状況を報告。参加SSをさらに増やしていくことで一致した。このほか、9月19日に行う災害対応実地訓練やタイヤ空気圧充填業務研修などへの参加も引き続き呼びかけていくことを確認した。

最近の組合活動、全石連活動などについて協議した長野理事会

発券店カード　SS過疎地問題
加藤副会長 成瀬課長補佐 最新事情を説明　長野

伝わる・通じるビジネスコミュニケーション

集合セミナー⑩
東京・人材力支援事業

カービジネス研究所　蛭田裕之氏

成長するためにはコミュニケーション力、共感力、提案力、指導力など「対人関係のスキル」を高める必要がある。

コミュニケーションを良くする心構えとして重要なのは、人を好きになるために「コミュニケーションを取ろう」という想いと行動、および相手（周囲）に関心を持つことが大事だ。

相手に話がうまく伝わらないのは、「相手が聴く姿勢になっていない」ケースが多いので、相手を〝尊重〟して「自分の話を聞いてもらえている」という安心感、「自分のことを理解してくれている」という信頼感、「大事にしてもらえている」という充実感を持ってもらえるようにすることが重要だ。

対人のコツは「ほうきじじい・ふ」

一方、聴覚情報を「非言語コミュニケーション」と言い、これを意識すると、いかに安心感や話しやすい雰囲気を作る場合、ゆっくり話すと距離が縮まる。

翻って、言語的コミュニケーションのスキルとして積極的傾聴法の「ほうきじじい・ふ」の技術を活用したい。

ほめる、うなずく、共通の話題、事例で話す、自分の話をする、イエスで答えられる質問をする、復唱する―の頭文字。

また上手に質問する方法は、クローズドクエスチョンではなく、相手が自由に答えられるオープンクエスチョン。

5W1Hを使い、会話を掘り下げ、会話を盛り上げ、共感力を高める。共感力を高めるポイントは、価値観の違いを理解して受け入れ、相手の立場で自分のことのように考えること。同じ気持ちになれなくても相手の感情を受け止める。

心が変われば行動が変わる。行動が変われば成果が変わる。良い循環を作り、仕事をより充実させたい。

世界の三大ガソリン計量機メーカー
TATSUNO

千葉　各事業に積極参加を

【千葉】千葉石商・協（安藤順夫理事長）は22日、千葉市内で理事・支部長会を開催し、今年度の方面協議会の開催日程を決めたほか、9～11月にかけて実施する人材育成事業や災害対応研修について説明した。

冒頭あいさつで安藤理事長（写真）は「猛暑でガソリンの販売量は比較的好調に推移したと思うが、原油価格は高止まりしている。季節が変わってからの需要減が心配だ」と危惧。そのうえで「9月は共同事業キャンペーンや『満タン運動』に加え、災害研修、人材育成研修などの取り組みがスタートする。県内各所で行う方面協議会も含め、できるだけ多くの組合員に参加してほしい」と呼びかけた。

島根　共同事業推進へ一丸

【出雲＝島根】島根石商・協（土田好明理事長）は22日、出雲市内で理事会を開催し、共同購買事業の年間目標などの議案を審議し、承認した。

土田理事長（写真）は、先般の西日本豪雨で被災された方へのお見舞いの言葉を述べた後、「今年度の共同購買事業についても引き続きご協力をお願いしたい」と同事業の強化・拡充を改めて要請した。

一方、昨今のSSを取り巻く経営環境について、「いま置かれている状況で、いかに利潤を生んでいくかということを考え、適正な経営の維持に努めてほしい」と訴えた。

理事会終了後には、業務提携契約を締結したJUコーポレーションの田中健一営業部副部長から同社が提供する中古車販売事業の概要について説明を受けた。

東京・上井草セルフ善福寺　カブトムシで地域貢献

夏の風物詩。上井草セルフ善福寺SS（東京・杉並区、渡邉敏幸社長・昭シェル系）では、飼育しているカブトムシをプレゼント中（写真）。

23区内ながら同SSの裏手は井草八幡宮という立地特性もあり、近場でカブトムシを採集できるという。卵～幼虫～サナギ～成虫の飼育サイクルを続けているため、今夏もたくさんのカブトムシをセールスルーム内に展示、希望者にプレゼントしている。

地域密着型SSではビ地どかれなのスで、子ども喜ばれている。

10月24日、名古屋で故大森氏お別れの会　愛知・大森石油

7月31日に逝去した大森一人元全石連副会長・中部支部長、元愛知石商理事長、大森石油会長（JXTG系）のお別れの会が10月24日午前11時30分から午後1時30分まで、名古屋観光ホテル「那古の間」（愛知県名古屋市中区錦1丁目19番30号　電話＝052－231－7711）で執り行われる。問い合わせは大森石油管理本部（電話＝0586－75－5511）まで。

千葉　ガソリン「ほうきじじい・ふ」

【千葉】千葉石商・協（安藤順夫理事長）は22日、千葉市内で理事・支部長会を開催し、今年度の方面協議会の開催日程を決めたほか、9～11月にかけて実施する人材育成事業や災害対応研修について説明した。

冒頭あいさつで安藤理事長（写真）は「猛暑でガソリンの販売量は比較的好調に推移したと思うが、原油価格は高止まりしている。季節が変わってからの需要減が心配だ」と危惧。そのうえで「9月は共同事業キャンペーンや『満タン運動』に加え、災害研修、人材育成研修などの取り組みがスタートする。県内各所で行う方面協議会も含め、できるだけ多くの組合員に参加してほしい」と呼びかけた。

島根　共同事業推進へ一丸

【出雲＝島根】島根石商・協（土田好明理事長）は22日、出雲市内で理事会を開催し、共同購買事業の年間目標などの議案を審議し、承認した。

土田理事長（写真）は、先般の西日本豪雨で被災された方へのお見舞いの言葉を述べた後、「今年度の共同購買事業についても引き続きご協力をお願いしたい」と同事業の強化・拡充を改めて要請した。

一方、昨今のSSを取り巻く経営環境について、「いま置かれている状況で、いかに利潤を生んでいくかということを考え、適正な経営の維持に努めてほしい」と訴えた。

理事会終了後には、業務提携契約を締結したJUコーポレーションの田中健一営業部副部長から同社が提供する中古車販売事業の概要について説明を受けた。

東京・上井草セルフ善福寺　カブトムシで地域貢献

夏の風物詩。上井草セルフ善福寺SS（東京・杉並区、渡邉敏幸社長・昭シェル系）では、飼育しているカブトムシをプレゼント中（写真）。

23区内ながら同SSの裏手は井草八幡宮という立地特性もあり、近場でカブトムシを採集できるという。卵～幼虫～サナギ～成虫の飼育サイクルを続けているため、今夏もたくさんのカブトムシをセールスルーム内に展示、希望者にプレゼントしている。

地域密着型SSではビ地どかれなのスで、子ども喜ばれている。

10月24日、名古屋で故大森氏お別れの会　愛知・大森石油

7月31日に逝去した大森一人元全石連副会長・中部支部長、元愛知石商理事長、大森石油会長（JXTG系）のお別れの会が10月24日午前11時30分から午後1時30分まで、名古屋観光ホテル「那古の間」（愛知県名古屋市中区錦1丁目19番30号　電話＝052－231－7711）で執り行われる。問い合わせは大森石油管理本部（電話＝0586－75－5511）まで。

豊田自工会会長（右から4人目）がイベントに急ぎょ駆けつけ、2輪車市場の普及拡大に意欲を示した

「バイクの日」PRにイベント　豊田会長も参加

8月19日は「バイクの日」。2輪車の交通事故撲滅を目的に政府が1989年に制定した同日、日本自動車工業会などが主催するPRイベントが東京・秋葉原で開催され、開会式やBS11のバイク番組「大人のバイク時間」のMOTORISE」公開収録、国内4大メーカー人気バイク20台の展示などに多数が来場した。

開会式で豊田章男自工会会長は「2輪車の普及を盛り上げたいと思い、急ぎょ駆けつけた。とても楽しいモビリティなので、ルールを守り、すてきなバイクライフを過ごしてほしい」と呼びかけたほか、テレビ番組収録にも特別ゲストとして参加し、「自動車業界は100年に一度の大変革期と言われ、新たなモビリティの登場や自動運転技術などによって2輪車・4輪車・トラックなどと区分けしていられなくなる」などと指摘、2輪車への関心を高めていく考えと市場拡大に意欲を示した。また、番組収録では元世界モトGPライダーの中野真矢氏、タレントの山口智充さん、壇蜜さん、バイク女子会メンバーがバイクを話題に楽しいトークを繰り広げ、会場を盛り上げた。

クラリティPHEV発売　ホンダ

ホンダは先ごろ、クラリティPHEV（写真）の発売を開始した。米国を主要市場と位置付けたモデルで、EV走行距離114・6㌔㍍を誇り、「EVという選択肢が広がることにつながる」と訴えた。

リチウムイオンバッテリーの総電力量は17KW時で、水冷式を採用している。最高出力184PS、「1・5㍑エンジン」105PS。希望小売価格は588万円で、年間内需目標は1千台。

トヨタプリウスPHV（68・2㌘）、三菱アウトランダーPHV（60・8㌘）の電動走行距離を大きく凌ぐとともに、走りの良さにこだわるホンダらしさも同時実現した。

◇

ホンダは2030年に4輪車世界販売台数の50％をHV・PHV、15％をEV・FCV、35％をエンジン車で構成することを目標としている。

新ラジオCMで五輪応援ソング放送中　JXTGエネ

JXTGエネルギーは、先月から新ラジオCM「それぞれにとっての、その日」編の放送中。起用する楽曲は、ENEOSとドリカムが東京2020大会に向けて作った応援ソング「その日は必ず来る」。

車いすバスケットボールで2020パラリンピックを目指す学生と、音楽でコンクール優勝を目指す学生が登場。音楽を聴いている2人の学生はいつも電車内で見かけながらもお互いを知らないが、偶然イヤホンが抜けた時、イヤホンから漏れてきたのは、夢に向かう背中を押してくれるドリカムのあの曲だった…というシナリオとなっている。

新設児童館寄付で小学生から礼状　太陽

【西原町＝沖縄】太陽石油はこのほど、グループ会社である南西石油の所在する沖縄県西原町に新設された町立西原南児童館の開館式に招待され、同町へ既設3児童館（西原児童館、西原東児童館、坂田児童館）、新設の南児童館、町立図書館への書籍購入費用として800万円を寄付したことに対し、児童館を利用する小学生から礼状を受け取った（写真）。

同社からの寄付金で購入した書籍は「ソラト文庫」と名付けられ、オリジナルのシールが貼られるほか、「ソラト文庫」と表示された専用の本棚に収められている。

DATAコーナー

■石油先物市場・8／24
△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜商上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比	限月
（前日出来高1,097枚）		ガソリン
67,610	Δ490	⑨限月
65,120	Δ770	⑩限月
64,150	Δ660	⑪限月
63,510	Δ400	⑫限月
63,050	Δ730	①限月
62,740	Δ710	②限月
（前日出来高396枚）		灯油
68,130	Δ430	⑨限月
68,850	Δ1,010	⑩限月
69,320	Δ920	⑪限月
69,200	Δ1,020	⑫限月
69,170	Δ1,000	①限月
68,740	Δ1,020	②限月
（前日出来高－枚）		軽油
68,300	0	⑨限月
68,000	0	⑩限月
67,700	0	⑪限月
67,500	0	⑫限月
67,300	0	①限月
67,100	0	②限月

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高256枚）	
66,680	Δ280
64,500	Δ2,000
64,000	Δ2,000
63,500	Δ1,500
63,000	Δ1,000
63,000	Δ1,500
（前日出来高64枚）	
67,690	Δ490
68,000	Δ1,500
68,500	Δ500
67,000	0
67,000	0
68,000	Δ1,000

原油指標

		前日比
国内指標	＄／B	73.36（Δ1.41）
	￥／KL	51,912（Δ1,325）
WTI	＄／B	67.83（▲0.03）
	￥／KL	48,002（Δ290）

洗車タオル
大量使いにうれしいお買得価格!!

人気No.1 手のひらサイズR型
●丈夫で長持ち
●吸水性UP▲
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
¥87
サイズ：約34cm×48cm 重さ：180匁（約56g）
カラー：白・青・ピンク・黄色 素材：綿100%
超極細繊維のマイクロファイバー素材 マイクロファイバー
●抜群の吸水性 ●すぐれた耐久性
●クルマにキズがつきにくい
600枚以上1枚あたり（税別、送料込）
※但し、沖縄・離島は送料別途
¥91
サイズ：約30cm×48cm 重さ：約38g カラー：白・青・ピンク・黄色
素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
高級マイクロファイバータオル
●ワックスやコーティング仕上げに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥120
サイズ：約40cm×40cm カラー：白・青・赤・黄色
重さ：約61g 素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※60枚以上、10枚単位で受注可能
※60枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）
マイクロファイバースクエア
●このボリューム感で低価格！
●汚れが目立ちにくい鮮やかな色合い
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ：約40cm×40cm カラー：青・赤・黄・緑色
重さ：約50g 素材：ポリエステル80%・ナイロン20%
※ご注文は200枚以上、100枚単位
※200枚以上は送料込（但し、沖縄・離島は送料別途）
手のひらサイズ200匁
●手触りバツグンのボリューム感
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
¥88
サイズ：約34cm×48cm 重さ：200匁（約62g）
カラー：白・青・ピンク・黄・緑色 素材：綿100%
手のひらサイズ140匁
●女性でも絞りやすい
●洗車、窓拭きに最適
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
※但し、離島は送料別途
¥70
サイズ：約34cm×43cm 重さ：140匁（約44g）
カラー：白・青・ピンク色 素材：綿100%
ニューカーウォッシュタオル
●強度あり、210匁
●毛羽が出にくい
600枚以上 1枚あたり（税別、送料込）
※但し、沖縄・離島は送料別途
¥92
サイズ：約33cm×48cm 重さ：210匁（約65g）
カラー：白・青・ピンク・黄色 素材：綿100%
※ご注文単位は1色60枚。180枚以上ご注文の場合、送料無料（高級マイクロ・スクエアは除く）。
タオル用液体洗剤 タオルクリーンSS 18Ωポリ容器 ¥6,850 税別○送料込 但し沖縄離島は別途
サンプルご希望の方や商品の詳細についてのお問い合わせは、最寄りの組合または全国石油業共済協同組合連合会へ 03-3593-5841

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
03（3593）5757

10県SS数8671カ所へ
前年度比269カ所減 10年間で34%が撤退
17年度末

資源エネルギー庁のまとめによると、2017年3月末時点の関東SS数（登録ベース）は8671ヵ所となり、16年度末よりも269ヵ所減となった。減少傾向は続いているが、過去10年間では2番目の少なさ。

地域別に見ると、茨城、群馬、千葉、新潟、静岡の5県で30ヵ所以上減少した。中でも静岡は毎年40ヵ所近く減少しており、18年度末には1千ヵ所を割り込むことが予想される。直近10年間の合計で見た場合、最も減少が著しいのは千葉の656ヵ所。次いで茨城（559ヵ所）、埼玉（524ヵ所）、静岡（517ヵ所）、神奈川（505ヵ所）となり、いずれも年間で50ヵ所以上が減少、全体では34%のSSが撤退していることになる。

県別給油所数の推移（カッコ内は前年度比）

	2007年度末	2017年度末
茨城	1,676	1,117（▲34）
栃木	1,041	692（▲14）
群馬	1,039	656（▲31）
埼玉	1,551	1,027（▲29）
千葉	1,798	1,142（▲36）
神奈川	1,374	869（▲26）
新潟	1,262	911（▲31）
山梨	569	383（▲12）
長野	1,252	867（▲18）
静岡	1,524	1,007（▲38）
関東全域	13,086	8,671（▲269）

（参考：資源エネルギー庁HP）

北関東道に太田強戸PAを新設
スマートIC、SSもNEXCO東日本は先ごろ、群馬県内の北関東自動車道に新たに「太田強戸パーキングエリア（PA）・太田強戸スマートインターチェンジ（IC）」をオープンした。

同PAは太田藪塚IC～太田桐生IC間に位置し、100台を超える広大な駐車マスを確保。近隣の波志江PA・出流原PAは20～30台程度しかなかったため、大型車の駐車マス不足問題解消やPAの混雑緩和が期待されている。

また東行き・西行きともに24時間営業のセルフSS（写真）を開設したことにより、同社管内で給油施設が150㌔以上にわたり存在しない「SS空白区間」はすべて解消された。

低コストの〝賢い集客術〟

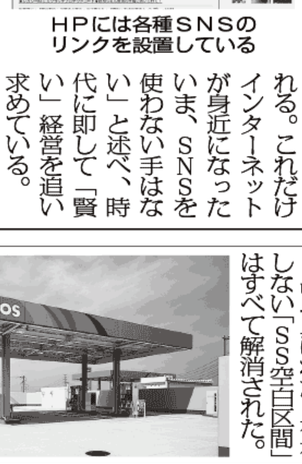
「うちではスタッフに一切の声かけを課していません」。そう語るのはカネジンの大野悟社長（栃木石商理事、足利支部長・昭シェル系）だ。大野社長は10年近くSNSを活用したWeb集客に取り組み、効率良く油外収益拡大・固定客増加を行っている。携帯電話・インターネットの普及率に着目し、SNSを活用して「待ち」の集客から「仕掛ける」集客に転換した事例を紹介する。

栃木・カネジン

同社の磨き上げやコーティングの依頼客のうち、およそ6～7割がHPもしくはSNSを見て来店を決めている。大野社長は「SNSは広告費用が、桁違いに安い」とし、費用対効果の高さを強調。実際に折り込みチラシを封入すると30万円ほどかかるが、SNSの広告は千円程度。さらに画像だけではなく、写真や動画の広告も打ち出すことができ、特定の地域・年齢層に合わせて広告を表示させることも可能だ。広告表示の対象を「市内・車に興味がある・20～30代」のように絞り込み、ピンポイントで集客を狙うのがコツだという。

さらに国内で圧倒的なSNSシェアを誇る「LINE@」も活用し、一方的に情報を発信するだけではなく、お客さんからの質問にも答える。「HPに金額表があるが、自分の車はどれに該当するのか」などの見積りに関する問い合わせが多く、時には夜中に連絡が入っていたことも。一見手間のかかる問い合わせにも真摯に対応することで、リピート客になることも多い。

いわゆる「営業」を全く行っていないにもかかわらず、同社のコーティング作業は予約が殺到して2ヵ月待ちになっている。大野社長は「たとえ商品が売れなかったとしても、スタッフの顔やお店の雰囲気など、いわゆる〝人〟が売れる。これだけインターネットが身近になったいま、SNSを使わない手はない」と述べ、時代に即して「賢い」経営を追い求めている。


HPには各種SNSのリンクを設置している

SNSで「待ち」から「仕掛け」

神奈川 街頭イベントの課題検証

神奈川石商広報委員会（瀧谷彰樹委員長）は先ごろ、横浜市内で会合を開いた。瀧谷委員長（写真）は「9月に『ザ・マスターズ神奈川SSゴルフ大会』や『石油の日チャリティーコンサート』があり、追い込みの時期になった。年度内の行事をいい形で迎えたい」とあいさつした。

会合では、「石油の日」街頭イベントとして今春にブース出展した相模原市民桜まつりを総括。委員からは「予想をはるかに超える人が集まった」と評価する声が目立つ一方で、「飲食を提供するブースが多数だったことから、どんな形態のブースが出展するかの確認も必要」という意見も出た。来年度に参加するイベントも、予算や効果の面から今後、検討を進める。

また、同石商のゆるキャラ「ユッシー君」について、経年劣化もあり修復するのか新たに作るのか、予算も考慮しつつ業者を交えて検討することを決めた。

9月18日開催のチャリティーコンサートについては、チケットの販売状況は好調と報告。今年は歌手のイルカさんがゲストだが、来年度のゲストも検討を始めており、小田和正さんの名前も候補に挙がっている。

千葉 『満タン運動』推進など協議

千葉石商環境整備事業委員会（宍倉久直委員長）は22日、今年度初の会合を千葉市内で開き（写真）、かけこみ110番などの地域貢献事業や『満タン&灯油プラス1缶運動』の推進方法について意見交換した。

会合では他県の取り組み事例を参考に、同石商で応用できないか議論。委員からは「災害支援型自動販売機の設置を改めてPRすべき」「警察や消防が発行している啓発ポスターと同じものを掲示してはどうか」などの意見が上がった。

愛知

中部支局（名古屋市中区正木3-24-10 愛知石油会館）
052（321）6001

太田啓一油政連中部支部長に聞く
諸問題の解決へ連携を強化して

石油の需要減が続き業界の将来展望が厳しさを増す中で、ますます注目される油政連活動。中部6県でその先頭に立つ太田啓一石油政治連盟中部支部長に3期5年目への抱負などについて聞いた。

――油政連の役職が板についてきた感じだが。

とんでもない。家訓通り商売一本でやってきたので政治の世界はやはり苦手。皆さんの力に支えられ、なんとか頑張ってはきたが、お役に立てているのかどうか。お引き受けした3期目も役員や組合員の協力を得ながら努力していきたい。

――これまでの4年間で強く感じたことは。

業界が特に厳しい環境となったこの十数年、組合員の危機感が政治家や関係省庁を動かし、助成金の確保などの成果を上げてきたことは大きい。しかし、元売も小売り現場も過去に経験したことのない変革にさらされ、いままでの延長線上でコトを進めていていいのか疑問を感じている。どうしたら業界を守っていけるのか、大胆な発想が必要ではないかと。

業界を守るため安売り規制の法整備の必要性を強調する太田支部長

――具体的にはどのようにしたらいいか。

例えばコストコ問題。中部では愛知、岐阜、富山の3県組合がそれぞれコストコSSに対し、これまで計50回以上も不当廉売として訴えてきたが、公取委はほとんど問題にせず、時々口頭注意する程度だ。それは公取委が及び腰とか理解不足とかではなく、いまの独禁法では安売りを厳しく規制することができないから。卸価格や諸経費などの詳細な資料提出、輸入元があるならその取引実態書類など徹底追求をしないで、役所は業者側の説明だけで結論を出している。それで通るのがいまの法律。廉売に対する厳格な法律を新たに作るべきだと思う。

――法整備とは大きな問題提起だが。

国もインフラの石油を守り今後も残していくという決意で中核や住民拠点SSなど整備を進め、官公需なども地元組合や中小零細SSに有利な施策に取り組んでいる。資本主義の論理だけではインフラを守ることができないという危機感が背景にはあると思う。我々としては政治家の力も借りながら、国を巻き込んでの法整備などを実現し業界全体を守っていく時期に差しかかっている気がする。

――組織の強い結束が大前提だと。

我々の強みは組織力。中部各県の油政連は、組合の組織力を武器に地元選出の国会議員や県議らと良好な関係を築き、着々と成果を上げている。愛知は野党系の強い土地柄だが、自民党議員への働きかけを含め、中部各県と一体となって中央と連携しながら活動を進めていきたい。

県警担当官招き 防犯対策講演会

愛知石商（宇佐美三郎理事長）は先ごろ愛知県警本部による「夏の防犯対策と防犯広報の協力依頼について」と題する講演会を石油会館で開いた。講師は県警・生活安全総務課の佐藤悦雄警部補（写真）。

冒頭、佐藤警部補は西日本豪雨被害などを例に「平素だけでなく、特に災害時には石油が地域の暮らしを守る〝最後の砦〟だということを県警としても実感している」と述べた後、自動車盗難の実態を説明した。

それによると、愛知の発生件数は2015年に2205件（全国ワースト1位）。SSなどの協力もあり、翌16年は1349件（同4位）と減少しているが、依然上位を占めている。

被害車両の内訳はトヨタのランドクルーザー、プリウス、レクサスLXの3車種が圧倒的に多く、年式の新しい車が狙われている。これらの車は電子キーと車のICとを照合させてエンジンを作動させる防犯装置のイモビライザーがついているケースが多いが、この装置があっても盗まれるケースが最近では6割近くにも達している。

イモビライザーを解除したり、レッカーに積んで盗み、関東や大阪方面で解体、キーの部分を別のものに変えてすべて部品として船で海外に運び出す大がかりなグループによる犯行が増えている。このためタイヤやハンドルの固定装置、さらに警報装置取り付け、日ごろのキーの厳重管理を求めている。

県警では、どの車も必ず立ち寄るSSでドライバーに被害防止を呼びかける方法が最も有効だとして、名古屋・大須の人気アイドルグループPOSUをモデルにしたチラシ「自動車盗難防止ガイド」を制作。組合員のSSでの配布を求めた。

水素テーマに来月、セミナー

愛知県主催による水素エネルギー社会形成に向けてのセミナーが9月6日、名古屋銀行協会会館（名古屋市中区丸の内2－4）の5階大ホールで開かれる。企業や地域の先進的な取り組み、最新の技術動向等が紹介される。テーマは「水素モビリティ社会の形成」で3つの講演が中心。参加無料、定員250人（先着順）。

【講演1】午後1時55分～2時55分。深刻化する地球温暖化に対し、切り札となる水素社会の世界の取組み＝丸太昭輝テクノバ水素グループマネージャー

【講演2】同3時～3時50分。太陽光メーカーが作った再エネ利用水素ステーション紹介＝山嵜敏晴長州産業新エネルギー事業部長

【講演3】同4時5分～4時40分。FC小型トラック技術開発の進捗状況と今後の展望＝大川信彦東京アールアンドデー担当部長

中学生4人がSS職場体験
中村リビングサービス

夏休みを利用しての中学生による職場体験学習がこのほど、中村リビングサービス尾張営業所（一宮市、中村栄一郎所長）で行われた。同市立丹陽中学校（成瀬光彦校長）の主旨、①生徒が事業所の人たちと共に働く機会を通じて職業についての理解を深める②働くことの尊さ、やりがいや厳しさを肌で感じ、働く人への感謝の気持ち、地域を大切にする心を養う―などに賛同した同SSが学校側の要請を受け入れ実現した。

40度近い猛暑の中で、2日間にわたって行われた体験学習には同中の2年生4人が参加。初日午前中にSSの施設概要や構造、地域での役割、洗車・給油の注意事項を中村所長から教えられた後、午後から来店客に対応。

キャノピーが直射日光を遮るとはいえ、猛暑の下、窓ふきや給油作業の手伝いを汗だくでこなしていた（写真）。中学生の応対に、給油に訪れたドライバーらは「この暑さの中で職場実習とは大したもの。ご苦労さま」などと笑顔で応えた。4人は口々に「初めてなので緊張した」「給油所の仕事がこんなに大変とは知らなかった」「勉強になった」などと汗をぬぐいながら感想を述べた。

2年目突入！『満タン&灯油プラス1缶運動』

2年目を迎えた『満タン&灯油プラス1缶運動』が今年も9月1日からスタートする。全石連、全国47都道府県石油組合が主催し、石油連盟、全日本トラック協会、日本ガソリン計量機工業会が協賛、内閣府政策統括官（防災担当）、資源エネルギー庁、国土交通省が後援する『満タン運動』は、いまや石油業界だけではなく、国土強靭化アクションプランなど国家プロジェクトとして推進することとなり、「国民運動」として燃料の民間備蓄を普及していくことが期待されている。（PRポスターを別添）

今年度の『満タン運動』では、組合員SSにはPRツールとしてポスター、ノボリ、バッチが配布される。

ポスターは1SSあたり2枚、デザインは昨年のものを踏襲しながら、新たに企画された消費者アンケートを告知するもの。

本日付け本紙で各事業所に1枚も配布される。

ノボリも昨年とほぼ同じデザインで各SS1枚を用意している。バッチは1SSあたりにタンクローリーへのPRステッカーが貼られることが決まり、その規模は昨年度を上回る2400台に達する。また、トラ協もPRステッカー添付に積極的で、1千台を超える車両が協力することを近くに感じてもらうことも重視している。

さらに今年度、特筆すべき活動として「消費者アンケート」を行うことが挙げられる。

アンケート内容は車両の使用頻度など基礎的なものから、同運動の意義までを問い、消費者の運動への理解力を深めてもらうことが目的。オリジナルクオカードも『満タン運動』のPRツールのデザイン仕様となっている。

また、ホームページもデザインを変更し、昨年度の成果を記載するほか、自治体での広報事例なども掲載し、より幅広い支持が得られていることを紹介する。

9月1日から開始する『満タン運動』だが、昨年度の経験を踏まえて、地域による効果的な実施時期も最大限考慮し行われる。また、今年度の終了期間は来年3月末としている。

満タン運動の重要性を再確認した森会長㊨と髙橋エネ庁長官

組合員SSへPRツール配布
消費者アンケートを実施

アンケートは『満タン&灯油プラス1缶運動』用ホームページを利用し、9月1日～11月30日までの期間で、回答者から抽選で50人にオリジナルクオカード（2千円）を贈呈するもの。抽選は12月に行われ、1月には賞品が発送されることになる。

アンケート内容は車両の使用頻度など基礎的なものから、同運動の意義までを問い、消費者の運動への理解力を深めてもらうことが目的。オリジナルクオカードも『満タン運動』のPRツールのデザイン仕様となっている。

また、ホームページもデザインを変更し、昨年度の成果を記載するほか、自治体での広報事例なども掲載し、より幅広い支持が得られていることを紹介する。

9月1日から開始する『満タン運動』だが、昨年度の経験を踏まえて、地域による効果的な実施時期も最大限考慮し行われる。また、今年度の終了期間は来年3月末としている。

今年度のPRツール各種とアンケート抽選賞品のオリジナルクオカード。（左上から時計回りに、ポスター、ノボリ、バッジ、ローリーステッカー、クオカード）

需給解説

販売
G再び前年割れに
猛暑需要も豪雨影響で相殺

エネ庁統計による6月内需は、前年比でガソリンが横ばいの41万キロリットル、軽油も1・2%減の275・9万キロ、灯油が11・6%減の42・1万キロリットルとなった。

一方、7月のガソリン内需推計については、前年比1・2%減の463・1万キロリットルで再び前年割れの見通し。猛暑によるエアコン需要で伸びた分を西日本の豪雨影響が相殺した格好とみられる。

資源エネルギー庁が先ごろ明らかにした2018年度におけるガソリン需要の見通しは前年比2・1%減としており、これと比較すると、4～7月累計見通しは1・0%減の1726・1万キロリットルで減販率は低いが、楽観できる動向ではない。

石連週報の7月出荷量では、前年比で第1週＝4・3%増、2週＝10・2%減、3週＝2・4%増、4週＝17・7%増で、月間平均の計算値は1・5%増で推移した。

中間留分も、灯油は4・4%減の42・5万キロリットルで減販が続いている見通し。一方、軽油は0・9%増の295・5万キロリットルで増販と推計。

エネ庁統計による6カ月連続だった前年割れの減販は小休止の状態。中間留分は、灯油が不調だった。

一方、7月のガソリン前年割れの見通し。

7月ガソリン販売推計は前年比1・2%減の463・1万キロリットルとなり、再び前年実績を下回ったと推計される。一方、7月のガソリン在庫は149・4万キロリットルで低水準が継続したと予測される（18年7月の販売量と月末在庫は本紙、18年度販売量は資源エネルギー庁推計）。

在庫
ガソリン低水準継続
日数は過去2番目の少なさ

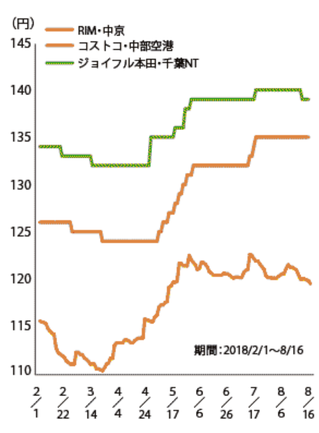
エネ庁統計の6月末在庫は2番目の少なさだったが、在庫日数では4番目の少なさとなった。軽油は6・6%減の141・5万キロリットル、過去10年間では在庫日数は2番目の少なさになった見通し。灯油は13・7%増、6・0%減の172・4万キロリットルと推測。過去10年間で在庫量、在庫日数ともに最低水準となった。

一方、7月末の在庫推計はガソリンが前月比5・8%減、前年比9・8%減の149・4万キロリットルで低水準が継続したと推計。過去10年間では在庫量は最低水準を継続したが、在庫日数は2番目の少なさとなった。軽油は0・6%減の151・5万キロリットル、過去10年間と3番目の少なさで推移したとみられる。軽油は1・3%増、1・7%増の143・4万キロリットルと推測。過去10年間で在庫量、在庫日数ともに2番目の少なさとなった見込み。

J本田高のコストコ安

コストコSSの中でも最もガソリン安値を続けている中部空港倉庫店。4月16日～6月1日にいたっては小売価格を消費税抜きにすると、同エリアの陸上スポット価格すら割り込む異様な水準だ。ただ、ここに来て若干マージン幅に変化が出てきている。

7月18日～8月15日までを同陸上スポットと比べるとガソリン粗利が約4円と推定されている。



SS関連3油種の月次販売数量

（単位：千キロリットル）

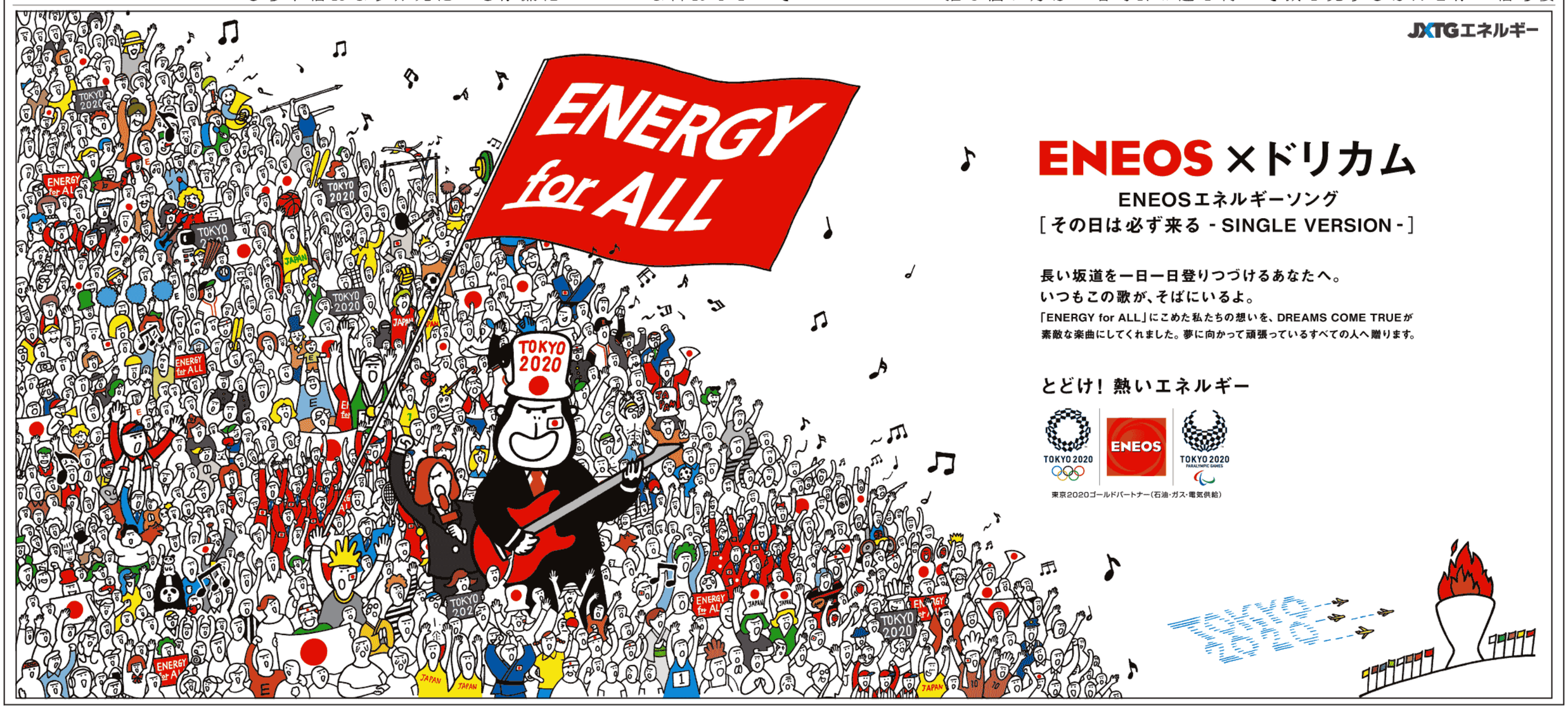
	5月		6月		7月		8月	年度販売数量
	販売量	前年比	販売量	前年比	販売量	前年比	販売量	
ガソリン								
2018年	4,250	-1.5%	4,140	0.0%	4,631	-1.2%	—	50,591
2017年	4,315	-0.5%	4,141	-0.4%	4,687	0.1%	4,881	51,833
2016年	4,336	-0.5%	4,156	-0.9%	4,681	-1.8%	5,085	52,508
2015年	4,359	-0.1%	4,194	-3.4%	4,767	5.4%	5,088	53,127
2014年	4,363	-3.8%	4,340	-1.3%	4,524	-9.6%	4,985	52,975
2013年	4,538	-0.9%	4,397	-0.9%	5,003	0.1%	5,318	55,477
2012年	4,577	-0.2%	4,435	-2.7%	4,997	-1.5%	5,434	56,207
2011年	4,583	-1.7%	4,556	-1.3%	5,073	-4.3%	5,447	57,209
2010年	4,662	-1.2%	4,617	-1.6%	5,298	7.7%	5,562	58,159
2009年	4,717	2.0%	4,692	6.6%	4,921	1.2%	5,471	57,464
灯油								
2018年	550	-4.1%	421	-11.6%	425	-4.4%	—	15,486
2017年	573	-9.0%	477	16.4%	444	1.5%	475	16,642
2016年	630	17.9%	409	-13.3%	438	-0.6%	479	16,257
2015年	534	-16.8%	472	-10.9%	441	-3.3%	471	16,235
2014年	642	-20.3%	530	4.3%	456	-20.1%	446	15,946
2013年	806	32.1%	508	-13.8%	570	-13.6%	521	16,662
2012年	611	-11.9%	589	9.5%	659	7.9%	716	17,911
2011年	693	-12.0%	538	-27.3%	611	-2.7%	555	18,884
2010年	788	-4.8%	740	-8.1%	628	11.8%	660	19,623
軽油								
2018年	2,622	-2.8%	2,759	-1.2%	2,955	0.9%	—	33,726
2017年	2,697	5.4%	2,792	5.4%	2,929	4.5%	2,764	33,820
2016年	2,558	-3.2%	2,648	-5.7%	2,804	0.6%	2,818	33,326
2015年	2,644	-3.6%	2,808	2.1%	2,787	-1.2%	2,795	33,326
2014年	2,741	1.3%	2,749	2.6%	2,820	-5.1%	2,703	33,594
2013年	2,708	1.2%	2,680	-0.1%	2,972	4.0%	2,830	33,583
2012年	2,674	10.6%	2,682	-0.8%	2,858	2.6%	2,874	34,089
2011年	2,418	2.1%	2,705	2.0%	2,786	-2.2%	2,726	33,391
2010年	2,367	-8.9%	2,652	1.3%	2,847	9.1%	2,747	32,872
3油種合計								
2018年	7,422	-2.2%	7,320	-1.2%	8,011	-0.6%	—	99,803
2017年	7,585	0.8%	7,409	2.7%	8,061	1.7%	8,120	102,295
2016年	7,525	-0.2%	7,213	-3.5%	7,922	-0.9%	8,381	102,091
2015年	7,537	-2.7%	7,473	-1.9%	7,995	2.5%	8,355	102,688
2014年	7,747	-3.8%	7,619	0.5%	7,800	-8.7%	8,134	102,515
2013年	8,052	2.4%	7,585	-1.6%	8,545	0.4%	8,669	105,722
2012年	7,861	2.2%	7,706	-1.2%	8,514	0.5%	9,024	108,206
2011年	7,695	-1.6%	7,799	-2.6%	8,470	-3.5%	8,729	109,484
2010年	7,817	-4.0%	8,009	-1.3%	8,773	8.4%	8,968	110,654

SS関連3油種の月末在庫量

（単位：千キロリットル、日）

	5月		6月		7月		8月	年度販売量
	在庫量	在庫日数	在庫量	在庫日数	在庫量	在庫日数	在庫量	
ガソリン								
2018年	1,844	13.3	1,586	11.4	1,494	10.8	—	50,591
2017年	1,890	13.3	1,797	12.7	1,657	11.7	1,682	51,833
2016年	1,761	12.2	1,719	11.9	1,679	11.7	1,627	52,508
2015年	1,890	13.0	1,736	11.9	1,543	10.6	1,543	53,127
2014年	1,963	13.5	1,721	11.9	1,746	12.0	1,681	52,975
2013年	2,270	14.9	2,104	13.8	2,030	13.4	2,124	55,477
2012年	2,248	14.6	2,168	14.1	2,243	14.6	2,205	56,207
2011年	2,139	13.6	2,011	12.8	2,026	12.9	2,098	57,209
2010年	2,499	15.7	2,284	14.3	1,969	12.4	2,139	58,159
2009年	2,341	14.9	2,234	14.2	2,077	13.2	1,985	57,464
灯油								
2018年	1,550	36.5	1,516	35.7	1,724	40.6	—	15,486
2017年	1,390	31.2	1,571	35.3	1,834	41.2	2,337	16,642
2016年	1,631	36.7	1,775	39.9	2,108	47.4	2,395	16,257
2015年	1,566	35.9	1,639	37.5	1,829	41.9	2,366	16,235
2014年	1,528	33.5	1,402	30.7	1,606	35.2	2,226	15,946
2013年	1,721	35.1	1,938	39.5	2,292	46.7	2,857	16,662
2012年	1,973	38.1	2,028	39.2	2,309	44.6	2,741	17,911
2011年	2,306	42.9	2,291	42.6	2,588	48.1	3,014	18,884
2010年	1,687	30.3	1,713	30.7	1,974	35.4	2,303	19,623
2009年	2,281	41.5	2,329	42.4	2,600	47.3	2,960	20,349
軽油								
2018年	1,514	16.4	1,415	15.3	1,434	15.5	—	33,726
2017年	1,502	16.2	1,423	15.4	1,409	15.2	1,473	33,820
2016年	1,620	17.7	1,480	16.2	1,518	16.6	1,780	33,326
2015年	1,682	18.3	1,515	16.5	1,711	18.6	1,748	33,594
2014年	1,677	18.2	1,501	16.3	1,606	17.5	1,921	33,583
2013年	1,825	19.5	1,682	18.0	1,664	17.8	1,955	34,089
2012年	1,855	20.3	1,784	19.5	1,825	20.0	1,854	33,391
2011年	2,016	22.4	1,895	21.0	1,847	20.5	2,073	32,872
2010年	1,966	21.8	1,738	19.3	1,786	19.8	2,013	32,891
2009年	2,091	23.6	1,774	20.0	1,938	21.8	2,080	32,396

JXTGエネルギー



ENEOS ×ドリカム
ENEOSエネルギーソング
［その日は必ず来る - SINGLE VERSION - ］

長い坂道を一日一日登りつづけるあなたへ。
いつもこの歌が、そばにいるよ。
「ENERGY for ALL」にこめた私たちの想いを、DREAMS COME TRUEが素敵な楽曲にしてくれました。夢に向かって頑張っているすべての人へ贈ります。

とどけ！熱いエネルギー

TOKYO 2020　ENEOS　TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES
東京2020ゴールドパートナー（石油・ガス・電気供給）